

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

696

共同浴場運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	3	生活衛生対策の推進
取組方針	1	衛生管理等の促進と監視の強化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		保健衛生総務費	
	大事業		共同浴場運営事業	
中事業		共同浴場運営事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	保険総務課	辻野 しのぶ 435-1069
事業実施の根拠法令	和歌山市共同浴場条例		関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	芦原共同浴場及び杭の瀬共同浴場内の円滑な運営		本市に2か所ある共同浴場は指定管理されており、芦原共同浴場は芦原共同浴場運営委員会が、杭の瀬共同浴場は杭の瀬共同浴場運営委員会が、それぞれ運営している。			
事業内容		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
		芦原共同浴場及び杭の瀬共同浴場内の運営維持	芦原共同浴場及び杭の瀬共同浴場内の運営維持。 浴場の各種の機器や設備について点検などを実施	芦原共同浴場及び杭の瀬共同浴場内の運営維持	芦原共同浴場及び杭の瀬共同浴場内の運営維持	芦原共同浴場及び杭の瀬共同浴場内の運営維持

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	16,126	15,694	16,201	19,151	17,385	16,542	18,830	0	18,830	0
伸び率(%)	△18.3%	△33.4%	0.5%	22%	7.3%	△13.6%	8.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,199	1,199	2,095	2,095	1,752	1,752	2,867	0	2,867
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,199	1,199	2,095	2,095	1,752	1,752	2,867	0	2,867
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	829	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	16,126	15,694	16,201	18,322	17,385	16,542	18,830	0	18,830	0
所要人数(人)	正規職員	0.15	0.15	0.26	0.26	0.22	0.22	0.36	0.00	0.36
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	所々修繕料 1,736千円 管理委託料 1,342千円 賠償責任保険料 702千円 調査委託料 550千円 その他 12,929千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
開場日数	日	目標値		603	607	607	607	607
		実績値		597	580	542		
		達成度(%)		99.0%	95.6%	89.3%	%	%
利用者数	人	目標値		80000	80000	80000	80000	80000
		実績値		69909	68032	57279		
		達成度(%)		87.4%	85.0%	71.6%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○ できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	地域住民の保健衛生の向上、福祉の増進などのためには、計画どおり運営していくことが望ましいと考えられるため。
見直し・改善内容	修繕費が年々上昇しているが、当面の間は現状のままで運営を行う。